

平成26年度名古屋大学地球水循環研究センター共同研究集会

東シナ海陸棚域の物質循環に関わる物理・化学・生物過程

日時 平成26年6月1日(日) 13:30 ~17:00

平成26年6月2日(月) 9:30 ~16:30

場所 名古屋大学地球水循環研究センター

(研究所共同館6階#617 ミーティングルーム)

プログラム

6月1日

13:30ー 武田重信、涌田陽平、江藤祐輔、山下洋平

夏季の東シナ海陸棚域における表層水中の微量金属の分布と栄養塩環境

14:05ー 藤城義久、張勁、松野健、石坂丞二

Water mass interaction and chlorophyll/nutrient distribution in the cross-slope area of the north eastern edge, East China Sea

14:40ー Keunjong Lee, Takeshi Matsuno, Takahiro Endoh, Yuanli Zhu, Joji Ishizaka

Turbulent nutrient flux supplied into the subsurface chlorophyll maximum in the East China Sea

休憩 15分

15:30ー 長谷川徹・五味泰史・佐々木宏明・西内耕

九州西方海域(CK5)におけるピコ植物プランクトンの動態

16:05ー Qian Xu, Shengqiang Wang, Joji Ishizaka

Spatial Variation of Phytoplankton Community in Tsushima Strait and the East China Sea Estimated by Multiple Excitation Fluorescence Method

16:40ー 鋤柄千穂、三野義尚、Sarat Chandra Tripathy、石坂丞二、松野健

東シナ海中央部における粒子状物質の生成・沈降過程ー粒子状物質の有機炭素・窒素安定同位体比の結果と考察ー

懇親会 18:00~

6月2日

9:30ー 東博紀

流動・低次生態系シミュレーションによる大気窒素沈着が東シナ海陸棚域の一次生産に及ぼす影響評価

10:05ー Jing Zhang, Liang Zhao, Xinyu Guo, Yasumasa Miyazawa

Water exchange across isobaths over the continental shelf of the East China Sea

10:40ー 千手智晴、渡辺俊輝

対馬海峡・山口県沿岸の水温の長期変動

昼食 11:15ー12:30

12:30ー 遠藤貴洋、吉川裕、松野健

5 ビーム ADCP による乱流観測の実用化に向けて

13:05ー 古市尚基

海洋混合層における乱流パラメタリゼーションと粒子状物質の動態

13:40ー 松野健、千手智晴、遠藤貴洋、石坂丞二、張勁、武田重信、梅澤有、吉川裕、郭新宇

「東シナ海陸棚域における基礎生産と物質循環を支配する物理・化学・生物過程の研究」に関する研究計画

14:10ー 梅澤有、山口聖、野崎龍、山岸龍ノ介

東シナ海の物質循環の理解に向けた今後の研究方針

14:40ー 張勁

2014～2015年における東シナ海関連観測調査について

15:10ー 2014年7月 長崎丸観測計画